

Nakamura Ikuo

中村征夫写真展 ー東京の海ー

展示会期：2012年7月5日(木)-2012年8月9日(木)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

GALLERY A⁴ では、2012年7月5日(木)から8月9日(木)まで、「中村征夫写真展ー東京の海ー」を開催致します。

ライフワークの東京湾をはじめ、水俣湾、諫早湾など、人と海との関係や、「命」を基本姿勢に取り組む報道写真家でもある中村征夫さんの写真の中から、「東京の海」にスポットを当てた写真を紹介します。江戸時代以前の東京は入江に囲まれた水際都市でした。現在の日比谷は、丸の内まで繋がる深い入り江で、海苔を乾かす「ひび」という竹の組みものが浅瀬に並んでいたことが地名の由来なのだそうです。現在は都市化が進み、身近にあった水辺もすっかり遠い存在になってしまいました。中村征夫氏は30年以上も東京湾の写真を撮り、その変遷を見守り続けています。中村氏の写真は、都市化が進み、高度経済成長期の影でヘドロにまみれ、汚染された海に、少しずつ、生物が帰ってきている様子を伝えます。近年は、温暖化の影響で熱帯魚が現れることもあるそうです。

3.11の大震災で私たちは、大いなる地球の胎動の中に共に生かされ、その変動帯からの恵みを得ていることにあらためて気付かされたはずです。その地球の大部分、70%は海なのです。中村征夫さんの写真をじっくりご覧いただくと、空き缶を住み家にするヤドカリ、コンクリートから、によつきり顔を出すアカハタ、大きく口をあけるボロカサゴ、どれも地上の変動など、我知らじ、とたくましく生きていく姿がうかがえます。観る人は、ひょうきんでたくましい魚たちが生きる海の魅力を知る一方で、陸上の人暮らしの勝手を知るのです。私たちは、眼前の暮らしの快適さのみで、見えない多くの世界を忘れていないだろうか、、、と。高度経済成長期を経て、人が捨て続けた海に沈むヘドロや環境汚水は、やがて循環し、人間のもとに帰ってくるでしょう。

30年に渡る東京湾の水中写真を撮り続けた中村氏の写真からは、たくさんの問いが聞こえてきます。夏休みの時期に重ね多く子ども達にも見ていただき、たくさんの発見をしていただきたいと思います。それと同時に地球全体のこと、生き物みんなのことも一緒に考えましょう。

この機会に是非ご来場くださいますよう、ご案内申し上げます。また、貴紙誌にてぜひ記事としてお採り上げいただきたく、宜しく願い申し上げます。

敬 具

2012年5月

一般財団法人

ギャラリーエークワッド



GALLERY A⁴



■企画概要

展覧会名：中村征夫写真展—東京の海—

会 期：2012年7月5日(木)～2012年8月9日(木)

会 場：Gallery A⁴ (ギャラリーエークウッド)

〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目1-1 竹中工務店東京本店1F

開館時間：10:00～18:00(最終日は17:00まで)

休館日：日曜日・祝日

入場料：無料

主 催：公益財団法人竹中育英会

共 催：一般財団法人ギャラリーエークウッド

お問合せ：ギャラリーエークウッド事務局 担当：岡部三知代 03-6660-6011

E-mail：m.okabe@a-quad.jp Gallery A⁴ 公式サイト：<http://www.a-quad.jp/>

■展示概要

- ・中村征夫撮影の東京の海の写真作品パネル約55枚。
- ・中村征夫撮影の東京湾の映像作品
- ・東京湾に捨てられた(実物の)ゴミなども展示、また漁師の仕事の紹介などを通して現実の海の姿をや人の暮らしを考えるコーナー。

■リーフレットの発行

リーフレットを発行致します。(サイズ：A4変形 200ミリ×210ミリ、20P、カラー)

■イベント

・トークショー「中村征夫、海への想い」

秋田出身の中村征夫氏と同郷の文化放送アナウンサー石川真紀さんを聞き手にお迎えし中村氏の海への想いを語っていただく。

日 程：2012年7月13日(金) 18:30-20:30

講 師：中村征夫(写真家)

聞き手：石川真紀(文化放送アナウンサー)

会 場：(株)竹中工務店東京本店2階ABホール(東京都江東区新砂1-1-1)

定 員：200名(先着順)

参加費：無料

申込方法：HPの申込フォームより申込(<http://www.a-quad.jp/>)

※申込が完了すると、すぐに完了メール(自動返信)が送られます。

これで受付完了となります。受講票はございません。

申込期間：5/15(火)～7/10(火)17:00まで

■スライドトーク

- ・中村征夫氏に写真を観ながら楽しく分かりやすくお話していただきます。
親子で楽しんでいただけるイベントです。ぜひ、お子様とご一緒にお申込みください。

日 程：2012年7月7日(土) 13:00-15:00

講 師：中村征夫(写真家)

聞 き 手：川北 英(ギャラリーエークウッド館長)

会 場：(株)竹中工務店東京本店2階ABホール(東京都江東区新砂1-1-1)

定 員：200名(先着順)

参加費：無料

申込方法：HPの申込フォームより申込(<http://www.a-quad.jp/>)

(親子参加など、複数でお申し込みの場合、備考欄に同伴者の氏名、年齢をご入力ください)

※申込が完了すると、すぐに完了メール(自動返信)が送られます。

これで受付完了となります。受講票はございません。

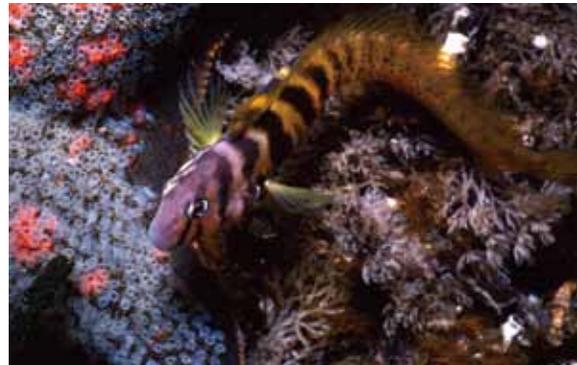
申込期間：5/15(火)～7/6(金)17:00まで



東京湾



マゴチ



袖ヶ浦ナベカ



底引きにかかるさまざまなゴミ



空き缶のごみ



中村征夫(なかむら・いくお) <http://www.squall.co.jp/>

水中写真家 1945年秋田県潟上市生まれ。
20歳のときに潜水と水中写真を始める。現在、海を専門とする撮影プロダクション(株)スコール 代表。
国内外の海を精力的に取材し、数多くの話題作を発表。ライフワークの東京湾をはじめ、水俣湾、諫早湾など、人と海との関係や、「命」を基本姿勢に取り組む報道写真家でもある。講演会やテレビ、ラジオなど様々なメディアをとおして、海の魅力と環境問題を伝え続けている。
第13回木村伊兵衛写真賞、第9回文化庁芸術作品賞、2007年度日本写真協会年度賞、第26回土門拳賞などを受賞。2009年、秋田県潟上市に中村征夫フォトギャラリー「ブルーホール」を開設。